

中東情勢の影響による物価高騰・ナフサ不足に対策を

鈴木 中東情勢による物価高騰とナフサ関連製品等資材不足の影響は深刻であり個別の努力は限界。国による暮らしと営業を守る対応、紛争終結と中東地域の安定に向けたアメリカへの働きかけが必要と考える。また、本市でも事態の把握と対策に全庁的に対応してほしい。事業者の資金繰り悪化等を懸念するが、市税等の猶予や減免措置等の対応はどうか。

総務部長 納付等の猶予、減免措置の何れでも柔軟に市民に寄り添い対応する。

鈴木 医療機関や介護・福祉事業所でも衛生関係製品の不足等の影響が報じられた。聞き取り等により実態を把握し、適切な支援を求める。ところで、市立病院の経営や医療行為、及び移転・建替え事業への影響と今後の対応は。

市立病院事務局長 医療現場で消耗品等が欠品する状況はない。建替えでは建設資材等に影響がある。コスト上昇の抑制を図る。

鈴木 本市の対応について市長の見解はどのようか。

頼高市長 市民生活や事業所は大

変厳しい。まずは「織りなすクーポン」を着実に実施するとともに、全庁的に状況を把握し、必要なことは対応する。商工会議所とも連携し、各事業所に寄り添った対応に努める。国に対しては全国市長会議でも原油価格高騰等を踏まえた地域経済対策の充実強化に関する決議を上げる等、危機感を持って対応している。紛争が国連憲章に基づく外交努力により一日も早く完全に終結し改善が図られるよう日本政府も含めて関係機関が引き続き外交努力を強めていただきたい。そのことを求める発信については平和首長会議や全国市長会とも連携して努力したい。

京浜東北線のマンマン運転化

鈴木 京浜東北線、南浦和・大宮間などでのワンマン運転化が来年度から実施されること等が発表されたが、実施された南武線等では遅延トラブルや事故対応への不安など様々な課題が指摘されている。本市の見解はどうか。

総務部長 JRより課題や対策の報告を受けている。近隣市との連携を含め、必要な対応を適宜検討する。



【鈴木さとしのプロフィール】

- 岩手県出身 新潟大学法学部卒
(株)第一経営相談所勤務 行政書士
- 現在、市議6期、党市議団長、総務常任委員会委員
- 主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目
中央1・3・4・5丁目

やまわき紀子議員の一般質問項目

- ◆駅西口駅前広場は市民が使いやすい駐輪場やトイレの整備を
- ◆新図書館の整備について
- ◆「子育てするならわらび」子育て支援策の拡充を
- ◆自転車も歩行者も安心なまちづくりを



市立病院の移転・建替え さらに市民の要望に応えた病院へ

◆市立病院の移転・建替え事業では、3月議会での議論を受け、昨年の検討した基本設計の検証作業がすすめられました。主な変更などは以下の通りです。

●医療需要の変化や建築費の高騰等に対応する見直しでは、透析や手術室の見直し、病床数108床への減少(47%の51床は個室)などにより概算工事費2億700万円減となる計画です。

●1階の感染症外来の位置を変更しスタッフ動線と医療効率を改善。2階健診センター付近の検診と外来、検

査の動線・待合を分離するなどプライバシーや使い勝手に配慮した設計になります。

◆危機打開プランに基づく病院経営の改革も前進しています。救急搬送の受け入れ増などで病床利用率が大幅に増加。引き続き外来医療を含めた目標達成を目指す方針です。日本共産党市議団は、市民の医療ニーズに応えた取り組みで持続可能な経営改善を図る対応を求めてきました。

